

掲 示 板

第7回 CODATA 国際会議の開催

会議は1980年10月8日より11日まで京都の国際会議場で行われる。報告は招待講演、講演、ポスターセッションにより行われ、報告申込の締切は1980年2月1日とする。

会議のテーマとしては「変動する世界におけるデータの役割」が選ばれ、基礎科学から現在社会が直面している重要課題への応用に至る広範囲にわたり、この問題が討議される。特に

- (1) 現存データの活用による新科学概念の形成と問題解決
- (2) 科学理論体系の発展に必要な新しい評価データ
- (3) データ内容の批判、評価
- (4) データの信頼性向上と科学的応用

などが重点的にとりあげられる。

この討議のために世界各国から、またいろいろの学問分野を代表する科学者が集まり、下記項目などを主題とするセッションをつくりシンポジウムを行う。

- (a) データのコンピュータ格納と利用
- (b) 大データバンク
- (c) 熱力学データ、分光データ
- (d) データの工業的利用
- (e) 自然の、また人工的に制御された環境システム
- (f) 生物科学データ
- (g) 地球科学データ
- (h) データの保存、著作権、経済効率などの諸問題

なお本国際会議に関心のある方、出席、参加を希望される方々にはサーキュラをお送りしますので下記事項記入の葉書を送付されたい。

記入事項：氏名、所属、通信先、電話

送付先：〒113 東京都文京区湯島 1-5-31

第一金森ビル内 日本コデータ協会

東レ科学技術賞および研究助成候補者募集

上記について東レ科学振興会より本会あて推薦依頼が来ています。希望者は**10月30日**までに、学会庶務理事まで御連絡下さい。募集の要項はつぎのとおりです。

科学技術賞……(1) 学術上の業績が顕著なもの (2) 学術上重要な発見をしたもの (3) 重要な発明をしてその効果が大きいもの (4) 技術上重要な問題を解決して技術界への貢献が大きいもの、に対し金メダルと副賞250万円。

研究助成……科学技術の基礎的な研究に従事し、その研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが

大きいと考えられる研究を行なっている研究者、またはそのグループに対し1,000万円程度。

贈呈期日は両方とも昭和55年3月の予定。

名古屋大学理学部物理学教室教官公募

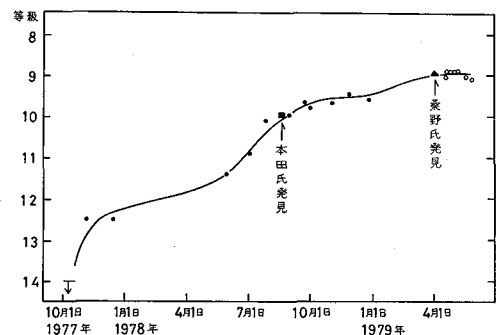
1. 公募人員 助手 1名
2. 所 属 物理学教室 U研究室
3. 専門分野 赤外線天文学
4. 着任時期 決定後なるべく早い時期
任 期 6±2年
5. 提出書類 略歴、論文リスト、主要論文別刷、研究計画書、他薦の場合は推薦書
6. 締 切 り 昭和54年10月15日
7. 提 出 先 〒464
名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部 物理学教室
小林ひろ美
8. そ の 他 応募書類には「U研公募書類在中」と朱記して下さい。詳しくは早川幸男(052-781-5111 内線 2453)宛お問い合わせ下さい。

名古屋大学理学部物理学教室
主任 小川修三

雑 報

こぎつね座の新星状天体

大分県日田市の桑野善之氏は1979年4月5.82日(UT)に撮影したフィルム上で、こぎつね座に9等の新星状天体を発見して東京天文台に連絡して来られた。同氏はさらに4月8.82日に20cm反射による眼視観測で8.7等と確認し、東京天文台木曾観測所では、直ちに105cmシュミットによる直接写真が撮影され、4月10.77日に、 $\alpha = 20^{\text{h}}19^{\text{m}}01^{\text{s}}.08$, $\delta = +21^{\circ}24'43".1$ (1950.0)、光



こぎつね座新星状天体の光度曲線

- ハーバード・スカイ・パトロール
- 東京天文台(中桐氏)

度は $U=9.6$, $B=9.3$, $V=9.1$ と測定された。その後、桑野氏による発見以前についての調査が行われ、1978年8月21.51日に倉敷市の本田実氏がやはり写真フィルム上で10等として発見し、東京天文台に報告済みであった未確認天体と同じものであることが確認された。ハーバード天文台のパトロール写真の原板やパロマー星図、木曾観測所の乾板などが調査され1978年9月6.59日

に撮影した105cmシュミットによるスペクトルではM4型、1979年4月11.8日と12.8日の岡山天体物理観測所の91cm反射によるスペクトルではA4型に分類することができるそうである。

その後各地で分光観測が続けられているのでいずれ様子が判明するであろうが、今までに知られた光度観測から得た概略の光度曲線を示しておく。(香西洋樹)

賛助会員名簿

(1979年7月5日現在の本会賛助会員は下記のとおりであります。ここに社名、代表者名を掲載させて頂いて感謝の意を表します。(五十音順))

旭光学工業株式会社	松本 徹	地 人 書 館	中 田 威 夫
朝日新聞社 科学部	木村 繁	天 文 博 物 館	
アストロ光学工業株式会社	滝 沢 磐	五 島 プ ラ ネ タ リ ウ ム	五 島 昇
岩 波 書 店	岩波雄二郎	東 京 電 力 株 式 有 限 公 司	木 川 田 一 隆
宇 宙 開 発 事 業 団	島 秀 雄	東 北 電 力 株 式 有 限 公 司	若 林 彊
沖電気工業株式会社	佐 藤 敦 之 義	長 瀬 産 業 株 式 有 限 公 司	
近江屋写真用品株式会社	野 呂 幸 義	コ ダ ッ ク 製 品 事 業 部	福 島 寿 治
カールツァイス株式会社	波 木 泰 雄	ナ ル ミ 商 会	村 上 俊 男
河 出 書 房 新 社	佐 藤 皓 三	日 本 光 学 工 業 株 式 有 限 公 司	彌 永 恭 二 郎
関西電力株式会社	芦 原 義 重	法 月 鉄 工 所	法 月 惣 次 郎
関東電気工業株式会社	関 井 忠 夫	富 士 通 株 式 有 限 公 司	
啓文堂 松本印刷	松 本 喬	シ ス テ ム 統 轄 部	松 田 季 彦
恒星社 厚生閣	佐 竹 久 雄	丸 善 株 式 有 限 公 司	飯 泉 新 吾
五藤光学研究所	五 藤 齊 三	三 鷹 光 器 株 式 有 限 公 司	神 田 和 勝
金光教本部 教庁	金 光 鑑 太 郎	三 菱 電 機 株 式 有 限 公 司	
誠文堂 新光社	小 川 茂 男	宇 宙 開 発 事 業 部	土 井 博 之
谷村株式会社 新興製作所	谷 村 恒 治	ミ ノ ル タ カ メ ラ 株 式 有 限 公 司	田 嶋 一 雄
サンシャインプラネタリウム	堀 家 邦 男	大 阪 市 立 電 気 科 学 館	辰 己 博

1979年6月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	12,	75	6	12,	121	11	—,	—	16	10,	101	21	11,	79	26	11,	64
2	9,	76	7	—,	—	12	—,	—	17	13,	91	22	12,	65	27	—,	—
3	10,	88	8	14,	199	13	—,	—	18	12,	107	23	8,	39	28	13,	41
4	12,	151	9	12,	159	14	—,	—	19	11,	99	24	8,	46	29	—,	—
5	14,	156	10	13,	184	15	11,	87	20	10,	71	25	11,	66	30	—,	—

(相対数月平均値: 152.3)

昭和54年8月20日	発 行 人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印 刷 所	〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町251	啓文堂 松本印刷
定価 300 円	発 行 所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話 三鷹 31局 (0422-31) 1359	振替口座 東京 6-13592